

- ◆ 「健康さっぽろ21（第二次）」 最終評価に関する市民意識調査の報告と最終評価値（抜粋）について
- ◆ 「健康さっぽろ21（第二次）」 最終評価の評価方法について
- ◆ 「健康さっぽろ21（第三次）」 の策定スケジュールについて

「健康さっぽろ21(第二次)」最終評価に関する市民意識調査について

1 目的

本調査は、『健康さっぽろ21(第二次)』の最終評価に向けて、計画の進捗状況等について調査するとともに、今後の札幌市民の健康づくりの推進のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的に実施した。

2 調査票の種類と調査対象者

- (1) 健康づくりに関する市民意識調査
札幌市内に居住している15歳から79歳までの市民を対象とし、居住区、年代、男女別の人口構成比を勘案し抽出 5,000人
新規設問：「一日の歩行時間」
- (2) 10代の健康に関する市民意識調査
札幌市内に居住している16歳から19歳までの市民を対象とし、居住区、年代、男女別の人口構成比を勘案し抽出 3,000人
- (3) 母子保健に関する市民意識調査
札幌市が実施する4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査対象者の保護者各1,200人、合計4,800人を対象とした。
新規設問：「フッ化物塗布の有無」など

3 調査方法

郵送により調査票を発送・回収した。

4 調査期間

令和4年8月1日～8月15日

5 回収状況、回答者の属性

本調査の回収状況および回答者の属性は次のとおりである。

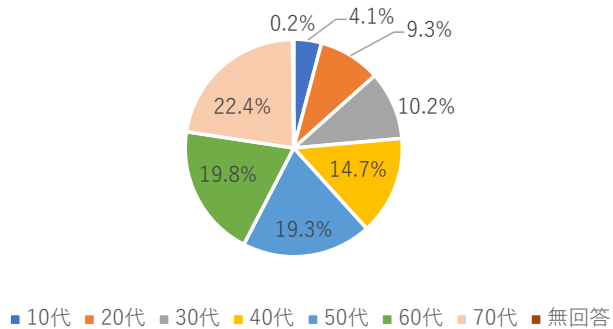
「健康さっぽろ21(第二次)」最終評価に関する市民意識調査について

◆回収状況

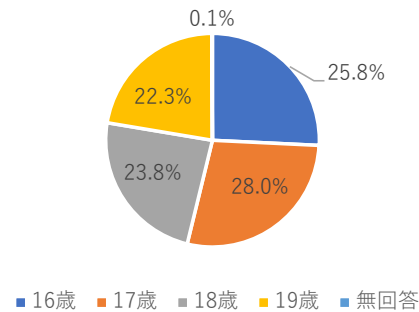
調査票の種類	発送数	回収数	回収率 (%)
健康づくりに関する市民意識調査	5,000	1,900	38.0
10代の健康に関する市民意識調査	3,000	920	30.7
母子保健に関する市民意識調査	4,800	2,717	56.6
4か月児	1,200	738	61.5
10か月児	1,200	658	54.8
1歳6か月児	1,200	687	57.3
3歳児	1,200	634	52.8

◆回答者の属性（年代別）

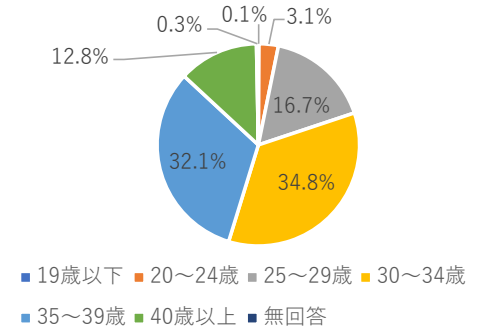
健康づくりに関する市民意識調査回答者
年代別割合



10代の健康に関する市民意識調査回答者
年齢別割合



母子保健に関する市民意識調査回答者
年代別割合



分野別主な指標の最終評価値①

: 目標を達成した指標

: 望ましい変化が見られた指標

1. 栄養・食生活

指 標	札幌市				全国		
	計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標
20～60歳代男性の肥満者の割合	25.3%	27.4%	35.8%	23%	31.2%	35.1%	28%
20歳代女性のやせの人の割合	20.2%	30.3%	25.0%	15%	29.0%	20.7%	20%
食塩の1日あたり平均摂取量	9.5g	9.8g	9.5g	8g	10.6g	10.1g	8g
野菜の1日あたり平均摂取量	293g	288g	284g	350g	282g	281g	350g
果物の1日あたり摂取量が100g未満の人の割合	53.1%	66.5%	55.0%	30%	61.4%	63.3%	30%

2. 身体活動・運動

指 標		札幌市				全国		
		計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標
運動習慣のある人の割合	男性	28.1%	33.5%	32.5%	38%	34.8%	33.4%	36% ※1 58% ※2
	女性	28.4%	27.2%	29.3%	38%	28.5%	25.1%	33% ※1 48% ※2

※1 20～64歳 ※2 65歳以上

3. 休 養

指 標	札幌市				全国		
	計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標
睡眠により疲労がとれない人の割合	23.3%	28.6%	30.1%	16%	18.4%	21.7%	15%
ストレスを感じている人の割合	21.1%	25.9%	27.5%	減らす	—	—	—

↓ 計画策定時との比較

(栄養・食生活)

- ・「20～60歳代男性の肥満者の割合」：10.5ポイント増加
- ・「20歳代女性のやせの人の割合」：4.8ポイント増加
- ・「食塩の1日あたり平均摂取量」：変化なし
- ・「野菜の1日あたり平均摂取量」：9g減少
- ・「果物の1日あたり摂取量が100g未満の人の割合」：1.9ポイント減少

(身体活動・運動)

- ・「運動習慣のある人※の割合」：男性は4.4ポイント増加
女性は0.9ポイント増加

※運動習慣のある人：1回30分以上の運動を週に2回以上行い、1年以上持続している人

(休養)

- ・「睡眠により疲労がとれない人の割合」：6.8ポイント増加
- ・「ストレスを感じている人の割合」：6.4ポイント増加

分野別主な指標の最終評価値②

4. 飲 酒

指 標	札幌市				全国		
	計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している男性の割合（純アルコールの1日の平均摂取量が40g以上）	—	—	19.1%	13%	15.3%	14.9%	13%
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合（純アルコールの1日の平均摂取量が20g以上）	—	—	12.1%	6.4%	7.5%	9.1%	6.4%

↓ 計画策定時との比較

（飲酒）

- ・「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合※」：男性19.1%、女性12.1%で男女とも目標値を上回った。

※中間評価時に新たに設けた指標

5. 喫 煙

指 標	札幌市				全国			
	計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標	
成人の喫煙率	成人	20.5%	17.4%	16.8%	10%	19.5%	16.7%	12%
	男性	30.6%	25.2%	26.5%	15.5%	32.2%	27.1%	—
	女性	13.1%	11.9%	10.1%	6.3%	8.4%	7.6%	—
受動喫煙の機会を有する人の割合	家庭	—	14.9%	12.6%	3%	10.7%	6.9%	—
	職場	現状値なし	20.8%	16.8%	受動喫煙のない職場の実現	64.0%※3	71.8%※3	望まない受動喫煙のない社会の実現
	飲食店	—	44.9%	27.1%	15%	50.1%	29.6%	—
	行政機関	—	3.1%	3.3%	0%	16.9%	4.1%	—
	医療機関	—	3.9%	5.5%	0%	13.3%	2.9%	—

※3 全面禁煙又は空間分煙を講じている職場の割合

（喫煙）

- ・「成人の喫煙率」：男性は4.1ポイント減少
女性は3.0ポイント減少
成人全体では3.7ポイント減少

- ・「受動喫煙の機会を有する人の割合※」：中間評価時と比較して、「家庭」、「職場」、「飲食店」では減少
「行政機関」、「医療機関」では増加

※中間評価時に新たに設けた指標

分野別主な指標の最終評価値③

6. 歯・口腔の健康

指 標	札幌市				全国		
	計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標
むし歯のない3歳児の割合	80.1%	85.4%	92.9%	90%	6 ※4	44 ※4	47 ※4
むし歯のない12歳児の割合	47.0%	57.1%	65.6%	65%	7 ※5	37 ※5	47 ※5
40歳で歯周炎を有する人の割合	44.6%	48.4%	53.4%	37%	37.3%	—	25%
60歳で歯周炎を有する人の割合	56.0%	60.6%	62.3%	45%	54.7%	—	45%

※4 3歳児でう蝕がないものの割合が80%以上である都道府県の数

※5 12歳児で一人平均う蝕数が1.0歯未満である都道府県の数

↓ 計画策定時との比較

(歯・口腔の健康)

- ・ 「虫歯のない子どもの割合」：3歳児は12.8ポイント増加
12歳児は18.6ポイント増加
- ・ 「歯周炎を有する人の割合」：40歳は8.8ポイント増加
60歳は6.3ポイント増加

7. 健康行動

指 標	札幌市				全国			
	計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標	
胃がんの検診受診率	男性	38.4%	48.3%	48.7%	当面は 40%	36.6%	48.0%	50%
	女性	27.4%	30.6%	30.4%		28.3%	37.1%	50%
肺がんの検診受診率	男性	27.2%	46.2%	48.4%	50%	26.4%	53.4%	50%
	女性	17.8%	31.7%	34.9%		23.0%	45.6%	50%
大腸がんの検診受診率	男性	30.5%	45.7%	46.1%	50%	28.1%	47.8%	50%
	女性	23.9%	31.5%	34.9%		23.9%	40.9%	50%
子宮がんの検診受診率	女性	41.5%	43.0%	40.7%	50%	37.7%	43.7%	50%
乳がんの検診受診率	女性	42.7%	41.4%	43.0%	50%	39.1%	47.4%	50%
麻しん・風しん混合(MR)ワクチンの第Ⅱ期予防接種率		92.4%	90.0%	84.9%	95%	—	—	—
インフルエンザ予防接種を受けた65歳以上の人の割合		49.6%	45.1%	54.5%	51.1%	—	—	—

(健康行動)

- ・ 「がん検診受診率」：子宮がん検診は減少、その他は増加
- ・ 「麻しん・風疹混合(MR)ワクチンの第Ⅱ期予防接種率」：7.5ポイント減少
- ・ 「インフルエンザ予防接種を受けた65歳以上の人の割合」：4.9ポイント増加

分野別主な指標の最終評価値④

8. 親子の健康

指 標	札幌市				全国		
	計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標
子育てに自信が持てない母親の割合	(25.8%)	8.5%	10.2%	減らす	19.3% ※6 24.8% ※7 28.0% ※8	—	—
虐待していると思うことがある親の割合	(5.8%)	9.0%	7.5%	減らす	—	—	—
10歳代の人工妊娠中絶実施率（人口千対）	12.0	9.2	集計中	5.0	7.1	3.3	6.0

※6 4か月検診 ※7 1歳6か月検診 ※8 3歳児検診

↓ 計画策定時との比較

（親子の健康）

- ・「子育てに自信が持てない母親の割合※」：（中間評価時と比較して）1.7ポイント増加
- ・「虐待していると思うことがある親の割合」：（中間評価時と比較して）1.5ポイント減少

※計画策定時と中間・最終評価時で用いた調査が異なるため、中間評価と比較

9. 全基本要素の取組結果に対する総合的な成果指標

指 標	札幌市				全国		
	計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標
75歳未満のがん年齢調整死亡率（人口10万対）	92.6	85.9	75.6	70.3	84.3	70	減少傾向へ
過去1年間に健診で血中の脂質異常と指摘を受けた人の割合	男性 59.4% 女性 69.6%	58.2% 73.7%	59.1% 70.9%	51% 60%	— —	— —	— —
過去1年間に健診で糖尿病（血糖値が高い）と指摘を受けた人の割合	男性 17.5% 女性 11.1%	21.4% 10.6%	20.0% 11.9%	11.5% 5.5%	— —	— —	— —

（全基本要素の取組結果に対する総合的な成果指標）

- ・「75歳未満のがん年齢調整死亡率」：17.0ポイント減少
- ・「健診で脂質異常と指摘を受けた人の割合」：男性は0.3ポイント減少
女性は1.3ポイント増加
- ・「健診で糖尿病と指摘を受けた人の割合」：男性は2.5ポイント増加
女性は0.8ポイント増加

10. 健康を支え、守るための環境の整備

指 標	札幌市				全国		
	計画策定時の値	中間評価時の値	最終評価時の値	目標	計画策定時の値	最終評価時の値	目標
地域活動等に参加している60歳以上の人の割合	男性 39.1% 女性 44.1%	34.3% 41.3%	28.0% 28.4%	46% 50%	63.6% 55.2%	— —	80% 80%

（健康を支え、守るための環境の整備）

- ・「地域活動等に参加している60歳以上の人の割合」：男性は11.1ポイント減少
女性は15.7ポイント減少

健康さっぽろ21（第二次）最終評価の方法について（案）

1 中間評価時の方法について

各指標における「中間評価時の値」は、計画策定時に使用した各種調査や統計、「市民意識調査」等より、目標値（当初の予定である2023年度）に対する中間評価時の達成度を算出し、A～Dの区分で評価を行った。

中間評価 指標の評価区分

評価		指標の進捗状況
A	目標に向かって順調に推移	計画策定時よりも改善し、目標値に向かって順調に推移している。 （目標達成度100%以上の見込みで推移）
B	目標に向かって概ね順調に推移	計画策定時よりも改善し、目標に向かって概ね順調に推移している。 （目標達成度50%以上～100%未満の見込みで推移）
C	目標に向かってやや遅れまたは変化なし	計画策定時から改善しているが、目標値に向けての改善が遅れている、あるいは変化なし。 （目標達成度0%以上～50%未満の見込みで推移）
D	目標値から遠ざかっている	計画策定時よりも悪化している。 （目標達成度0%未満の見込みで推移）
E	評価できない	設定した指標の把握方法が計画策定時と異なる場合や、計画策定時の値が設定されていないなど、進捗状況の評価が統計学的に困難である場合は「評価できない」とする。

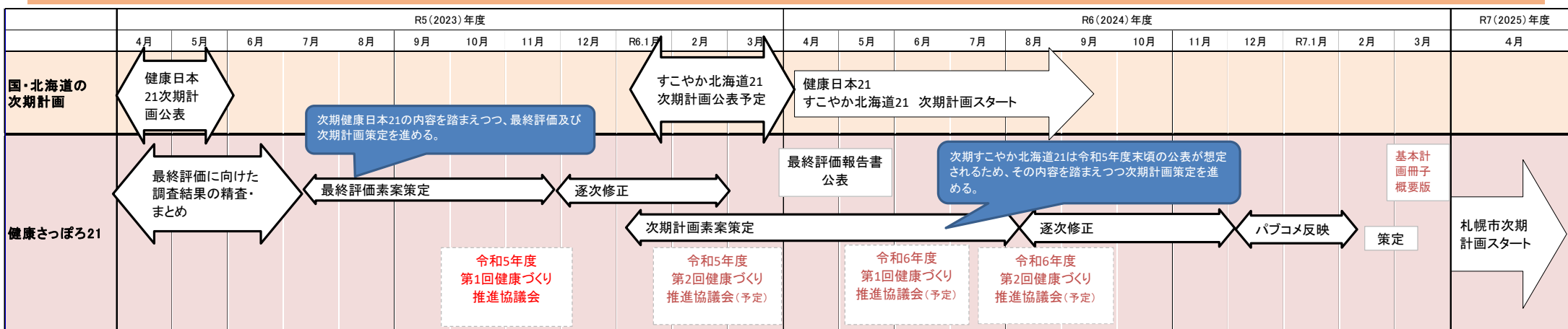
2 最終評価の方法について

中間評価時と同様の方法により実施する。
各指標における「最終評価時の値」は、計画策定時に使用した各種調査や統計、「市民意識調査」等より、目標値に対する最終評価時の達成度を算出し、A～Dの区分で評価を行う。

最終評価 指標の評価区分

評価		指標の進捗状況
A	目標を達成した	計画策定時よりも改善し、目標値を達成した。 （目標達成度100%以上）
B	目標値に達していないが改善傾向	計画策定時よりも改善し、目標に向かって概ね順調に推移している。 （目標達成度50%以上～100%未満）
C	変化なし	計画策定時から改善しているが、目標値に向けての改善が遅れている、あるいは変化なし。 （目標達成度0%以上～50%未満）
D	悪化している	計画策定時よりも悪化している。 （目標達成度0%未満）
E	評価できない	設定した指標の把握方法が計画策定時と異なる場合や、計画策定時の値が設定されていないなど、進捗状況の評価が統計学的に困難である場合は「評価できない」とする。

札幌市健康づくり基本計画策定に関するスケジュール(案)



1 国の検討状況(次期「健康日本21」)

- 現行の「21世紀における第二次国民健康づくり運動(健康日本21(第二次))」の計画期間は、平成25年度から令和4年度までの10年間としていたところ、国の他計画(医療費適正化計画等)と計画期間を一致させるために、「健康日本21(第二次)」の計画期間を1年延長し、令和5年度までの11年間としました。
- 令和4年10月に「健康日本21(第二次)」の最終評価報告書が公表され、令和5年5月に「健康日本21(第三次)」が公表されました。令和5年度に都道府県計画策定期間を設け、令和6年度から「健康日本21(第三次)」が開始となります。

2 「健康さっぽろ21(第二次)」計画期間について

- 「健康日本21(第二次)」の計画期間が1年延長されたことにより、北海道の「すこやか北海道21(改訂版)」の計画期間も1年延長となり、平成25年度から令和5年度までの11年間となっています。
- 「健康さっぽろ21(第二次)」の最終評価や次期「健康さっぽろ21」の策定は、「健康日本21」や「すこやか北海道21」の内容を踏まえつつ、検討を行う必要があります。
- このことから「健康さっぽろ21(第二次)」の計画期間を現行の平成26年度から令和5年度の10年間から1年延長し、令和6年度までの11年間といたしました。

3 次期「健康さっぽろ21」の策定について

- 現行の「健康さっぽろ21(第二次)」計画期間を延長したことにより、「健康さっぽろ21(第三次)」は、令和6年度中に策定を行い、令和7年度から計画を開始する予定です。
- 現在事務局において、市民意識調査結果等を踏まえ、分析・評価を進めているところであり、次回会議において、分析・評価結果についてお示しし、ご意見をいただきたいと考えております。
- 令和5年度末には、都道府県計画である「すこやか北海道21」が示される見込みであることから、その内容と、「健康さっぽろ21(第二次)」の分析評価結果を踏まえ、次期計画の素案を作成する予定です。
- 次期計画案につきましては、令和6年度に開催する本協議会においてお示しし、ご意見をいただきたいと考えております。

4 次回以降の協議会開催について

- 令和5年度内の協議会としては、年度末に「健康さっぽろ21(第二次)」分析評価結果報告書案についてご検討いただく予定です。